

ゲルタイプの速乾性すり込み式手指消毒剤

速乾性すり込み式手指消毒剤

手ピカ®ジェルP

TEPIKA GEL P

ヒアルロン酸ナトリウム等の湿潤剤を配合し、
手荒れに配慮した手指消毒剤です。



手ピカジェルP

TEPIKA GEL P

MRSA、グラム陰性桿菌をはじめとする各種感染起因菌による病院感染の防止のために、医療従事者の確実な手指消毒はきわめて重要であり、院内において日常の手指消毒剤として各種速乾性すり込み式手指消毒剤が使用されています。しかし一方で、これら速乾性すり込み式手指消毒剤の皮膚刺激性（手荒れ）や、液の飛散又はこぼれ落ちによる床汚染等が問題となっているのが現状です。

手ピカジェルPは、有効成分としてエタノールを76.9～81.4 vol%含有し、湿潤剤としてヒアルロン酸ナトリウムやグリセリンを配合するなど、手荒れ防止に配慮したゲルタイプの速乾性すり込み式手指消毒剤です。

特性

1. 湿潤剤としてヒアルロン酸ナトリウムやグリセリンを配合し、手荒れ防止に配慮しています。
2. 広い抗微生物スペクトルを有し、迅速な殺菌効果が期待できます¹⁾。
3. ゲルタイプなので、液の飛散やこぼれ落ちがありません。
4. べたつきやヨレが少ない良好な使用感です。

組成性状

有効成分	エタノール (C ₂ H ₆ O) 76.9～81.4 vol%
添加物	ヒアルロン酸Na、グリセリン、トコフェロール酢酸エステル、カルボキシビニルポリマー、トリエタノールアミン
性状	無色のわずかに混濁した粘性の液です。

効能効果、用法用量

● 効能効果

手指の殺菌・消毒

● 用法用量

適量を手掌にとり、乾燥するまで摩擦してください。

手指消毒法 ーラビング法ー

1



手ピカジェルPを手のひらにとります。

〔 250mL、500mL：ポンプひと押し分
60mL：およそ500円玉大 〕

2



初めに両手の指先(爪)に手ピカジェルPをよくすり込み、手のひらになじませます。

※手のひらにのせるとゲルが液状化するので、すばやく手になじませます。

3



次に手のひらによくすり込みます。

4



手の甲にもすり込みます。

5



指の間にもすり込みます。

6



親指にもすり込みます。

7



手首にも十分すり込みます。
手ピカジェルPが乾燥するまでよくすり込みます。

殺菌効果 (in vitro試験)

グラム陽性菌、グラム陰性菌及び消毒薬抵抗性が強い非定型抗酸菌の計9菌種に対し、手ピカジェルPの *in vitro* における殺菌効果について試験した結果、いずれの供試菌に対しても15秒以内に殺菌し、優れた殺菌効果が確認されました¹⁾。

供 試 菌 株	殺菌時間*
<i>Staphylococcus aureus</i> IFO 12732	≤ 15 秒間
<i>Staphylococcus aureus</i> (臨床分離株, MRSA-01)	≤ 15 秒間
<i>Enterococcus faecalis</i> ATCC 29212	≤ 15 秒間
<i>Escherichia coli</i> IFO 3806	≤ 15 秒間
<i>Pseudomonas aeruginosa</i> IFO 13275	≤ 15 秒間
<i>Serratia marcescens</i> IFO 12648	≤ 15 秒間
<i>Mycobacterium terrae</i> ATCC 15755	≤ 15 秒間
<i>Mycobacterium chelonae</i> ATCC 14472	≤ 15 秒間
<i>Mycobacterium fortuitum</i> NBRC 13159	≤ 15 秒間

*：99.9%以上の減少に要した時間

● 健栄製薬株式会社 社内資料：手ピカジェルPの殺菌効力について

ウイルス不活化効果 (*in vitro*試験)

5種のウイルス（コクサッキーウイルスB5型、エコーウイルス7型、単純ヘルペスウイルス1型、A型インフルエンザウイルス、日本脳炎ウイルス）に対し、手ピカジェルPの*in vitro*におけるウイルス不活化効果について試験した結果、手ピカジェルPはコクサッキーウイルスB5型を30秒間で、エコーウイルス7型を2分間で、その他3種のウイルスを10秒以内で不活化し、優れたウイルス不活化効果が確認されました¹⁾。

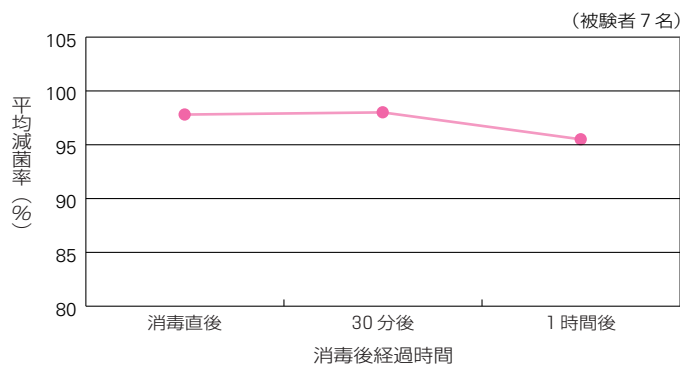
ウイルス	ウイルス不活化時間*
コクサッキーウイルスB5型	30秒間
エコーウイルス7型	2分間
単純ヘルペスウイルス1型	≤ 10秒間
A型インフルエンザウイルス	≤ 10秒間
日本脳炎ウイルス	≤ 10秒間

*：99.9%以上の不活化に要した時間

● 健栄製薬株式会社 社内資料：手ピカジェルPの殺菌効力について

手指消毒効果 (*in vivo*試験)

手ピカジェルPの*in vivo*における手指消毒効果について、パームスタンプ法を用いて評価した結果、手ピカジェルPは消毒1時間経過後も95%以上の減菌率を示し、優れた手指消毒効果が確認されました¹⁾。



方法

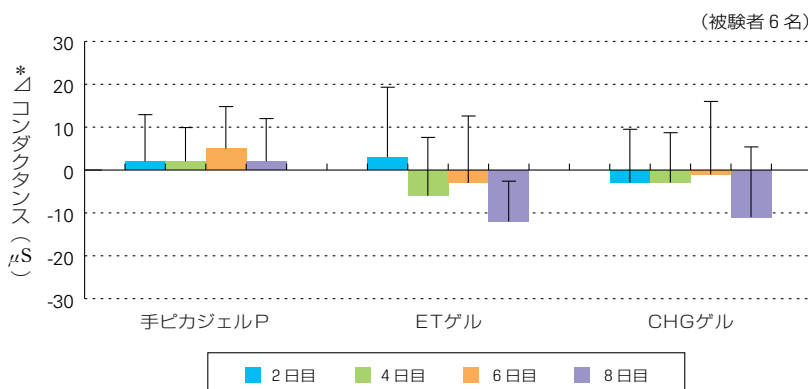
消毒前の手指菌数を測定し、次に製品に添付されているポンプひと押し分を用いて手指消毒を行い、消毒直後、消毒30分後及び消毒1時間後の手指菌数を測定して減菌率を求めた。なお、消毒後は菌数測定時以外滅菌手袋を装着した。

● 手ピカジェルP (ポンプひと押し分2mL)

● 健栄製薬株式会社 社内資料：手ピカジェルPの殺菌効力について

皮膚に対する影響 — 角層水分量の測定 (皮膚表面コンダクタンス : Skin Surface Conductance) —

手ピカジェルPを連続使用した場合の皮膚に対する影響について、市販のエタノール・ゲル（ETゲル）及び0.2%クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール・ゲル（CHGゲル）を対照として、角層水分量の変化を評価した結果、手ピカジェルP塗布部位は、ETゲル及びCHGゲル塗布部位に比べて高いコンダクタンス値を示し、保湿性に優れていることが確認されました²⁾。



方法

被験者の前腕内側部に、それぞれ1回約0.6mLを1日6回、8日間連続塗布した。1日6回の試験薬剤塗布終了1時間後に、皮膚表面湿度計(SKICON-200, IBS社製)により電導度(μS)を測定し、皮膚表面の湿度(コンダクタンス値)を求めた。

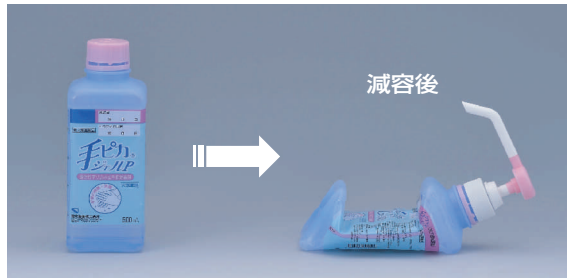
*：連続塗布2、4、6、8日目の測定値とコントロール値との差の平均値(mean ± S.D.)

● 健栄製薬株式会社 社内資料：手ピカジェルPの皮膚に対する影響

包装

60 mL× 10、250 mL、500 mL、500 mL (ショートノズル)

減容ボトル採用によりゴミ削減



- 500 mLは折りたたみが容易な角型減容ボトルを採用していますので、使用後のゴミを減らし、廃棄処理コストが削減できます。
減容後の容積は、約 1/4 になります。

優れた識別性、使用性



4面に品名表示

500 mL、500 mL (ショートノズル)

- 識別性向上のため、品名を4面に表示し、誤使用防止を図っています。

開封日、とりかえの目安の記入

250 mL、500 mL、500 mL (ショートノズル)

- ラベル正面には開封日、とりかえの目安が記入できます。



- 60 mLはワンタッチキャップで、携帯用に適しています。また、携帯に便利なリールストラップの装着が可能です。(別売)
- 250 mL、500 mL (ショートノズル) は手押し式ポンプが装着されており、そのまま使用することが可能です。
- 500 mLには、そのまま使用できるショートノズルタイプと、使用時に付属の手押し式ポンプを装着するタイプの2種類のポンプの製品があります。

ディスペンサーキット

各種タイプのディスペンサーを取り揃えていますので、状況に応じた手ピカジェルPの設置が可能です。

手押しタイプ

手摺り固定式



プラスチック製：
250 mL、500 mL、
500 mL (ショートノズル) 用



金属製：
250 mL、500 mL、
500 mL (ショートノズル) 用

手押しタイプ

壁固定式



プラスチック製：
250 mL、500 mL、
500 mL (ショートノズル) 用



金属製：
250 mL、500 mL、
500 mL (ショートノズル) 用

肘押しタイプ

壁固定式



プラスチック製：
500 mL 用

足踏みタイプ

ポール固定式



プラスチック製：
500 mL 用



手押しタイプは…

- 手摺り固定式、壁固定式（プラスチック製：250 mL・500 mL・500 mL (ショートノズル) 用、金属製：250 mL・500 mL・500 mL (ショートノズル) 用）、卓上式（プラスチック製：250 mL・500 mL・500 mL (ショートノズル) 用）があり、プラスチック製はポール固定式としても使用可能です。
- 場所をとらないコンパクト設計です。
- トレイを準備しており、プラスチック製は左、右、正面どの方向にでも取付け可能で、また金属製は左、右方向に取付け可能です。

肘押しタイプ、足踏みタイプは…

- 壁固定式、ポール固定式があり、500 mLのみ使用可能です。
- ポールスタンドを準備しています。

手ピカ[®] ジェルP のDRUG INFORMATION

商 品 名	和 名	手ピカ® ジェルP								
	洋 名	TEPIKA GEL P								
製 造 販 売 元	健栄製薬株式会社									
日本標準商品分類番号	872615	承 認 番 号	22100APX00047							
薬 効 分 類	速乾性すり込み式手指消毒剤	承 認 年 月	2009年2月							
区 分	第3類医薬品	販 売 開 始 年 月	2009年9月							
使 用 上 の 注 意	してはいけないこと (守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります) 次の部位には使用しないでください 傷のある手指、粘膜（口唇等）、目の周囲 相談すること 1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください (1)医師の治療を受けている人。 (2)本人又は家族がアレルギー体質の人。 (3)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。 2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、添付文書等を持って医師又は薬剤師に相談してください 使用後、次の症状があらわれた場合 <table><tr><td>関係部位</td><td>症 状</td></tr><tr><td>皮 膚</td><td>発疹・発赤、かゆみ</td></tr></table>				関係部位	症 状	皮 膚	発疹・発赤、かゆみ		
関係部位	症 状									
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ									
効 能 効 果	手指の殺菌・消毒									
用 法 用 量	適量を手掌にとり、乾燥するまで摩擦してください。 〈用法用量に関連する注意〉 (1)用法用量を厳守してください。 (2)小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。 (3)目に入らないように注意してください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。 (4)外用にのみ使用してください。 (5)血液や汚物等が付着している場合には、石けんでよく洗浄後、使用してください。 (6)使用後は手を十分に乾燥させてください。（乾燥不十分のまま火気に手を近づけると引火するおそれがあります。）									
組 成 性 状	<table><tr><td>有効成分</td><td>エタノール(C₂H₆O) 76.9～81.4 vol%</td></tr><tr><td>添 加 物</td><td>ヒアルロン酸Na、グリセリン、トコフェロール酢酸エステル、カルボキシビニルポリマー、トリエタノールアミン</td></tr><tr><td>性 状</td><td>無色のわずかに混濁した粘性の液です。</td></tr></table>				有効成分	エタノール(C ₂ H ₆ O) 76.9～81.4 vol%	添 加 物	ヒアルロン酸Na、グリセリン、トコフェロール酢酸エステル、カルボキシビニルポリマー、トリエタノールアミン	性 状	無色のわずかに混濁した粘性の液です。
有効成分	エタノール(C ₂ H ₆ O) 76.9～81.4 vol%									
添 加 物	ヒアルロン酸Na、グリセリン、トコフェロール酢酸エステル、カルボキシビニルポリマー、トリエタノールアミン									
性 状	無色のわずかに混濁した粘性の液です。									
保管及び取扱い上の注意	〈貯 法〉 気密容器・火気を避けて室温保存 〈使用期限〉 容器等に表示 (1)直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。 (2)小児の手の届かない所に保管してください。 (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わることがあります。） (4)火気に近づけないでください。 (5)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。 (6)薬剤が床や家具等に付着しないようにしてください。（変質又は変色のおそれがあります。）									
包 装	60 mL×10、250 mL、500 mL、500 mL（ショートノズル）									

[詳細は添付文書等をご参照ください。]

主 要 文 献

- 1) 健栄製薬株式会社 社内資料：手ピカジェルPの殺菌効力について
- 2) 健栄製薬株式会社 社内資料：手ピカジェルPの皮膚に対する影響

文 献 請 求 先

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

健栄製薬株式会社 学術情報部

〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号 電話番号06(6231)5626 FAX番号06(6204)0750